

委員会意見要望及び当局処理状況（6月定例会）

R元. 8.30

議案番号	件名	提案年月日	議決年月日	審査委員会	意見要望	担当課	処理状況
報告第8号	平成30年度豊岡市土地開発公社の決算について	元. 6. 7	元. 7. 2	総務委員会	<p>公社が所有する土地は2件あるが、いずれも今後処分が見込めるような場所ではなく、また、新たな土地を7年以上取得していない。</p> <p>については、公社の役割について十分考慮され、整理・解散も含めて検討されたい。</p>	財政課	<p>平成27年度の理事会以降、3年毎に、公社の今後のあり方について議論しているが、「いざという時のツールとして公社は存続する」という検討結果になっている。</p> <p>市の事業の将来計画としては、大規模な用地買収の見込みはないとしても、国の事業として進められている高規格道路の整備に関連する事業で、公社が必要となる可能性が残っている。</p> <p>今後は、その動きを注視しながら、解散に向けて検討したいと考えている。</p>

第60号 議案	令和元年度豊岡市一般会計補正予算(第1号)	元. 6. 7	元. 7. 2	予算決算 委員会	<p>非認知能力向上対策事業費について、演劇ワークショップによる非認知能力向上対策は、演劇のまちを目指す本市の独自性のある、かつ日本国内においても先駆的な取り組みであり、その効果を大いに期待しているところである。3年間の実証結果を踏まえ、課題や推進体制を十分に検証したうえで、導入に向けた取り組みを推進されたい。</p> <p>なお、学校現場では、新学習指導要領への移行の取り組みや教職員の働き方改革などが進められており、実施にあたっては今回のモデル校はもとより各学校や教職員の負担の増えることのないように十分留意されたい。</p>	こども 教育課	<p>2学期からモデル校2校の1～3年生で演劇ワークショップの授業を実施し、プログラム・評価方法などを検証し、修正を加えながら3年間で効果測定をしていきたい。</p> <p>事業実施にあたっては、教職員の負担にならないよう、プロの演劇指導者による演劇ワークショップによる授業を行い、非認知能力の変容を測定する方法については、大学に委託し研究することとしている。</p>
------------	-----------------------	---------	---------	-------------	--	------------	--

第63号 議案	令和元年度豊岡市 下水道事業会計補 正予算（第1号）	元. 6. 7	元. 7. 2	建設経済 委員会	<p>本補正については、一般会計繰出金積算誤りによるものであり、下水道会計のみならず、一般会計にも多大なる影響を与えた。</p> <p>今後は、チェック体制の見直しや研修会への積極的な参加等、徹底した再発防止に努められたい。</p>	下水道課	<p>今回の誤りの原因となった費用の積算方法について、チェックと整理を行った。</p> <p>各担当者で業務のチェックリスト作成を進めており、完成後にマニュアル作成を予定している。</p> <p>担当業務について、係内で研修を行い情報共有に努め、チェック体制の確立を図っている。</p> <p>参加可能な研修には積極的に申込みを行い、内容によっては複数での参加を考えている。</p>
------------	----------------------------------	---------	---------	-------------	--	------	---